

科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
世界史 B	3	4	詳説世界史 改訂版 (山川出版)	プロムナード世界史 (浜島書店) 一問一答 世界史 (山川出版)
到達目標 世界の歴史の流れをつかみ、現代社会の諸問題を歴史的視点から考察できるようにする。				

評価の観点	評価の内容
a 関心・意欲・態度	・世界の歴史に関心を持ち、意欲的に学習をしている。 ・歴史的視点から社会問題解決のヒントを得ようとする態度を身につけている。
b 思考・判断・表現	・学んだことを基に課題を見出し、現代社会の諸問題について様々な視点から考察をしている。 ・考察した内容を公正な判断に基づいて、論理的に表現している。
c 資料活用の技能	・地図や年表、資料などから歴史的な情報を探っている。 ・目的に応じて必要な資料を選び、活用している。
d 知識・理解	・世界の歴史について、基本的な知識を身につけ、地理や日本の歴史と関連づけて理解している。

評価の方法 各定期考査、単元テスト、課題等の提出状況、学習活動への取組などの総合評価とする。
--

年間指導計画													
前期					後期								
月	予定 時数	学習内容	評価の観点				月	予定 時数	学習内容	評価の観点			
			a	b	c	d				a	b	c	d
4	36	第1章 東洋史 ・ 中華人民共和国 ・ 朝鮮民主主義人民共和国 ・ 東南アジア	○	○		○	10	25	第4章 西洋中世史 ・ 中世ヨーロッパ世界 ・ ヨーロッパ世界の変容	○	○		○
6	20	第2章 中東史 ・ トルコ・イラン世界の展開 ・ ムガル帝国 ・ オスマン帝国	○	○	○	○	11	20	第5章 西洋近代史 ・ ルネサンス ・ 宗教改革 ・ 大航海時代	○		○	○
8	25	第3章 西洋古代史 ・ 古代ギリシア時代 ・ ヘレニズム時代 ・ 古代ローマ時代	○	○	○	○	12	14	第6章 近現代史 ・ 第一次世界大戦 ・ 第二次世界大戦 ・ 冷戦 ・ 地域紛争	○	○	○	○
							2 3						
							計 140						

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・世界史Aの学習内容を前提に授業を進めます。復習をしておいてください。 ・授業開始のチャイムが鳴るまでに、教科書・プリント・ファイル (A4 2穴)・筆記用具・ワークを準備し、直ぐに授業が始められるようにしてください。 ・忘れ物は、1校時開始前までに申し出てください。 ・遅刻や欠席に関して、学校の基準以内であれば直接の減点はしません。 ・プリント提出・課題提出は期限を厳守してください。減点対象とします。 ・クラスメイトの学ぶ権利を奪う行為や向上心のない言動は慎んでください。 ・分からないことは、そのままにせず直ぐに確認をしてください。
